

きょうしつ ステップ教室たより



日野市立潤徳小学校
令和6年5月2日
特別支援教室【ステップ教室】

今年度の指導がスタートしました

新年度が始まり、1カ月がたとうとしています。子供たちも新しい環境に少しずつ慣れ始めています。ステップ教室では、新しい先生、子供たちが加わりました。新しい学年・学級に少し不安を感じている子もいれば、一つ上の学年になり、やる気に満ち溢れている子もいました。

小集団指導では、「ネームボールパス」や「ストローじゃんけん」などをして、自己紹介したり友達の名前を覚えたりするとともに、お互いの理解を深める活動を通しました。友達の話に興味をもち、相手のことを知ろうとする姿を見せていました。また、個別指導は自分自身の課題やめあてを確認し、活動への見通しをもって学習に取り組めるようにしています。

今週はゴールデンウィークがあります。新年度の疲れをとるとともに、ご家族との時間を大切に有意義に過ごしてほしいと思います。新1年生のお子さんのステップ教室での指導は、連休明けから開始します。

ネームボールパス

名前を呼ばれたら返事をする事、お友達の名前を覚えることがめあてです。



相手が受け取りやすい力でボールを渡すことに気を付けました。

ストローじゃんけん

じゃんけんをして勝ったら1本ストローがもらえます。その時に、自分の名前を言って自己紹介をします。



負けた時の気持ちを切り替えることがめあてです。

なにかを完了させる力～実行機能～

実行機能とは、最後まで何かをやり遂げるのに必要な機能（能力）のことを言います。計画を立て、やる気を起こし、集中したり適宜休んだりして、物事を完了させるための脳の指令システムです。例えば、天気予報を見て最適な衣服を選ぶ作業、食事のメニューを考え段取りを決める作業、どれも実行機能が関わっています。実行機能が関係する困りごとや苦手さへの対策としていくつか紹介します。

- 取り組むたびに手順を考えなくてもよいように、マニュアルを参照する。（既存のものを活用する、自分で作成する）
- 作業に集中できる環境を整える。（作業に関係のないものを見える範囲に置かない、など）
- すべきことや行動の順番を整理するために、ふせんやToDoリストアプリを活用する。
- 指示はなるべくひとつずつ、視覚的に確認できるかたちにする。
- いつ・どこで・何を・どのように取り組むべきかチェックリストを用意してもらう。
- すべきことの優先順位や作業マニュアルを用意してもらう。



【参考文献：「発達障害の子どもの実行機能を伸ばす本 自立に向けて今できること 講談社」】

【参考：kaizen 実行機能と発達障害 <https://www.kaizen-lab.com/faq/2-faq-diagnosis/executivefunction/> 2024年4月25日】